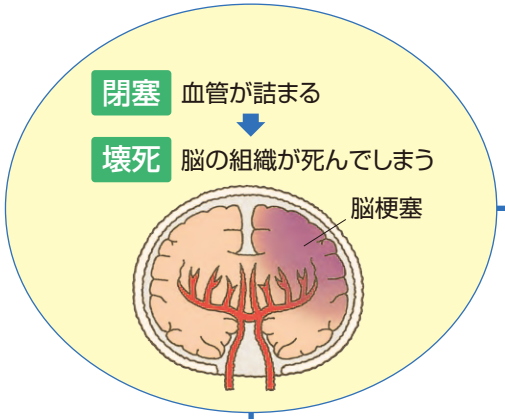
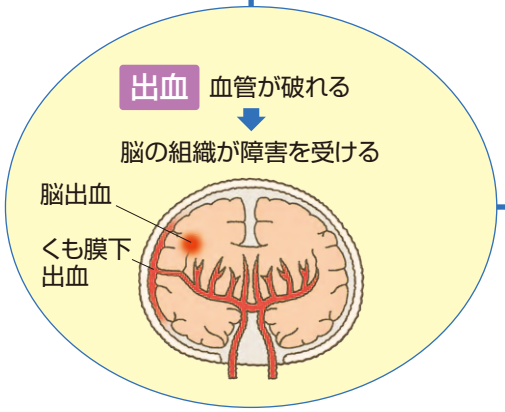
動脈硬化が進行すると… 脳卒中編 ①

脳卒中

脳の血管が「詰まる」か「破れる」ことで、脳に血液が届かなくなり、脳の神経細胞が障害される病気です。

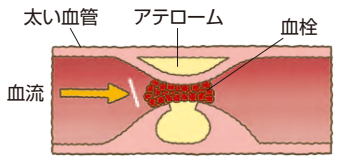


脳卒中



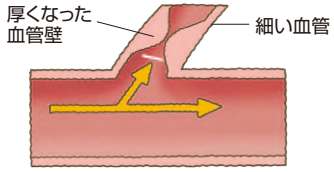
脳梗塞

アテローム血栓性脳梗塞



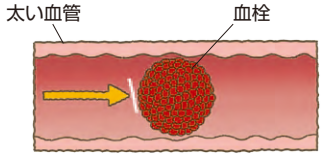
脳の太い血管がアテローム動脈硬化により、血栓ができて詰まります。

ラクナ梗塞



脳の細い血管に動脈硬化が起こって詰まります。

心原性脳塞栓症

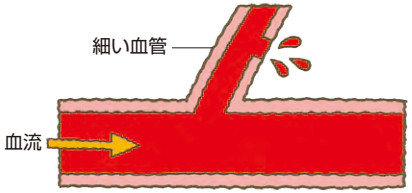


心臓にできた血栓が脳の血管に流れてきて詰まります。心房細動（不整脈）の患者さんに多く見られます。

TIA（一過性脳虚血発作）

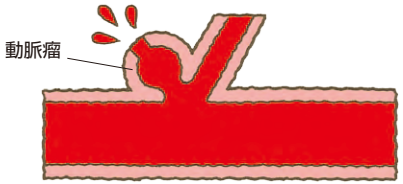
脳の血管の血流が一時的に悪くなって麻痺などが起きますが、24時間以内に血流が再開し、症状もなくなります。
脳梗塞の前触れ発作ともいわれています。

脳出血



脳の中の細い血管が高血圧や加齢によりもろくなり、破れて出血します。

くも膜下出血



脳の表面の動脈にできたこぶ（動脈瘤）が脳を覆っているくも膜の下で破れて起こる出血です。動脈瘤とは、弱くなった動脈壁が血圧によって膨らんでできたこぶです。

【監修】医薬情報研究所／株式会社エス・アイ・シー、公園前薬局（東京都）薬剤師 堀 美智子 先生